学校番号	211

令和8年度　国語科

教科	国語科	科目	現代の国語	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	増補新版　現代の国語　（数研出版）						
副教材	新常用漢字必携パーフェクトクリア　三訂版　（尚文出版） 新常用漢字必携パーフェクトクリア　別冊　三訂版　徹底トレーニングノート（尚文出版） 改訂版　【一問一答】日本文学史ノート 新訂　総合国語便覧2026・国語便覧ワークノート（第一学習社）						

1 担当者からのメッセージ

・1年間で、基礎的な国語の教養、論理的な読解力と表現力を身に付けましょう。
・文章記述、話し合い、発表などは主体的に取り組みましょう。
・文章を正確に理解し、他者に自分の考えを伝えるために豊富な語彙力を身に付けましょう。
・日々の授業・予習・復習により、国語力の定着を図りましょう。

2 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
【思考・判断・表現】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力・人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	「話すこと・聞くこと」，「書くこと」，「読むこと」の各領域において，論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり，思いや考えを広げたり深めたりしながら，言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに，進んで読書に親しみ，言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の学習成績の状況にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価基準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	社会と文化 【教材】 「コミュニケーション能力とは何か」 「水の東西」	a. 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 a. 個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 b.「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 b.「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c. 二つの文章において筆者が論じている内容を粘り強く読み解いて、その要点を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。 c. 筆者の意見を踏まえた事例について粘り強く考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 課題	・ノート ・グループワーク ・課題 ・振り返りシート
	批評する 【教材】 『羅生門』の最後の一文 「羅生門」	a. 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 b.「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 b.「書くこと」において、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 c. 作品について自分の考えを持ち、文章の構成に注意しながら積極的に批評文を書こうとしている。 c. 複数の文章を積極的に読み比べて考えたことを学習課題に沿ってわかりやすく説明しようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 課題	・ノート ・グループワーク ・課題 ・振り返りシート
2学期	新しい視点 【教材】 「政治的思考」 「わらしべ長者」の経済学	ａ．文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 a. 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b.「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 b.「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 c. 自分の考えが適切に伝わるように、主張や論拠の説明を積極的に補足しながら意見交換を行い、学習課題に沿って自分の考えをさらに深めようとしている。 c. 筆者の意見や参考資料をもとに実社会の問題について積極的に考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 課題	・ノート ・グループワーク ・課題 ・振り返りシート
	【教材】 「わたし」の多様性	a. 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 a. 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 a. 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 b.「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に	小テスト 定期考査	定期考査 課題	・ノート ・グループワーク ・課題 ・振り返りシート

	【教材】 「一人の中にある無限」 「『わたし』の輪郭」	捉え、要旨や要点を把握している。 b.「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 b.「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。 c. 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。 c. 論理的文章と関連する資料を積極的に比較考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。			
3学期	近代化と人間 【教材】 「ポスト・プライバシー」	a. 推論の仕方を理解し使っている。 a. 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 b.「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 b.「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 c. 筆者の考えを参考にしながら実社会の状況や問題点を粘り強く考察し、学習課題に沿って説明しようとしている。 c. 論理的な文章と複数の資料を積極的に読み比べることで実社会に関する考察を深め、学習課題に沿ってわかりやすく説明しようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 課題	・ノート ・グループワーク ・課題 ・振り返りシート
	認識の枠組み 【教材】 「他者を理解するということ」	a. 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 b.「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c.「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	小テスト 定期考査	定期考査 課題	ノート グループワーク 振り返りシート

年間の各領域時間数

・話すこと/聞くこと　〔 20 〕時間

・書くこと　〔 30～40 〕時間

・読むこと　〔 10～20 〕時間